

# 2019年度第6回町田市子ども・子育て会議

## 議事要旨

---

---

### 【開催概要】

日 時：2020年2月13日（木）18:00～19:10

会 場：会議室3-1

### 【議事次第】

- 1 開 会
- 2 事務連絡
- 3 議 題
  - (1) 「新・町田市子どもマスタープラン【後期】～子どもにやさしいまちづくり計画～2020-2024（案）」に対するパブリックコメントの実施結果について
  - (2) 「新・町田市子どもマスタープラン【後期】～子どもにやさしいまちづくり計画～2020-2024（案）」最終確認・承認について
- 4 報 告
  - (1) 2020年度学童保育クラブ一斉入会申込み状況について
  - (2) 三輪子どもクラブの整備について
  - (3) 2020年度新たな「まちとも」実施校について
  - (4) 2020年度認可保育所等入所申込み状況について
  - (5) 第二期障害児福祉計画について
  - (6) 大地沢青少年センター民間活力導入検討の報告について
  - (7) 来年度スケジュールについて
- 5 その他
- 6 閉 会

【配布資料】

- 資料 1      ご意見の概要と市の考え方
- 資料 2      新・町田市子どもマスタープラン【後期】(案)
- 資料 3      計画案主な変更点一覧
- 資料 4      答申書
- 資料 5      2020年度学童保育クラブ入会申し込み状況について
- 資料 6      三輪子どもクラブの整備について
- 資料 7      2020年4月認可保育所等への入所申込み等の状況(1次選考)
- 資料 8      第二期障害児福祉計画について
- 資料 9      大地沢青少年センター民間活力導入検討の報告について
- 資料 10     2020年度町田市子ども・子育て会議年間スケジュール

2019年度第6回町田市子ども・子育て会議 委員出席者

子ども・子育て会議 委員

氏名	所属	出欠
◎金子 和正	東京家政学院大学	出
○吉永 真理	昭和薬科大学	出
小林 保子	鎌倉女子大学	出
平林 剛	東京弁護士会	出
齋藤 祐善	町田市私立幼稚園協会	出
関野 鎮雄	町田市法人立保育園協会	出
馬場 昭乃	町田市社会福祉協議会	出
田部井 眞	社会福祉法人ボワ・すみれ福祉会	出
吉田 孔一	町田市公立小学校校長会	出
高橋 博幸	町田市公立中学校校長会	欠
森山 知也	東京都立町田の丘学園	出
川崎 文子	町田市民生委員児童委員協議会	出
中野 幸子	町田市中学校PTA連合会	出
豊川 達記	町田市医師会	出
澤井 宏行	町田商工会議所	欠
山田 牧子	市民	出
岸 洋一郎	市民	出
福田 麗	町田市青少年委員の会	出
酒井 恵子	町田市障がい児・者を守る会すみれ会	出

◎会長 ○副会長

・備考： 傍聴者（1名）

2019年度第6回町田市子ども・子育て会議 事務局出席者

氏 名	所 属
石坂 泰弘	子ども生活部部长
鈴木 亘	子ども生活部子ども総務課課長
鈴木 敬之	子ども生活部児童青少年課課長
櫻井 敦	子ども生活部保育・幼稚園課課長
市川 裕之	子ども生活部子育て推進課課長
田村 裕	子ども生活部子ども家庭支援センター長
山之内 敦郎	子ども生活部子ども発達支援課課長
青木 範和	子ども生活部子ども発達支援課相談・療育担当課長
守屋 靖	子ども生活部大地沢青少年センター所長
中島 佳子	地域福祉部障がい福祉課課長
上田 直子	保健所保健予防課課長
野田 留美	学校教育部指導課担当課長

子ども総務課事務局：石崎 進、吉田 織子、石川 浩二

## 【議事内容】

### 1 開会

子ども総務課担当課長：定刻となりましたので、ただいまから2019年度第6回町田市子ども・子育て会議を開催いたします。

### 2 事務連絡

子ども総務課担当課長：本日は、高橋委員、澤井委員から欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。半数以上の委員の出席をいただいておりますので、会議は有効に成立しております。また、会議の運営支援のため、榎名豊が出席いたします。議事要旨作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、ご了解ください。本日の会議ですが1時間半程度を目安に進行してまいりたいと思っております。ご協力をお願いいたします。

会議の公開についてですが、現在傍聴者はありませんが、来られた場合は公開とさせていただきます。よろしいでしょうか。

一同：(異議なし)

## ■資料の確認

[資料1～10の確認]

子ども総務課担当課長：以後の進行については、金子会長にお願いします。

金子会長：皆様お忙しいところご苦勞様です。最後の大事な会議になりますので、建設的な意見をいただいて、より良いものができあがるように、よろしく願いいたします。それでは早速議題に入りたいと思います。

### 3 議題

(1)「新・町田市子どもマスタープラン【後期】～子どもにやさしいまちづくり計画～2020-2024(案)」に対するパブリックコメントの実施結果について

金子会長：「新・町田市子どもマスタープラン【後期】～子どもにやさしいまちづくり計画～2020-2024(案)」に対するパブリックコメントの実施結果について、事務局より説明をお願いします。

[資料1の説明]

金子会長：ただいま事務局よりパブリックコメントの実施結果について説明がありました。  
何か質問はありますか。

岸委員：回答の内容が修正可能であれば3点あります。1点目は15番です。教育相談の指標、目標が有効であるため変更はなしという回答でしたが、このコメントは有効ではないという意見ですので、なぜ有効なのかについて、焦点を当てて記載することが必要かと思います。

2点目は16番です。「スクールソーシャルワーカーを学校に派遣できないのか」という質問に対して「できない」という回答です。しかし、このコメントは「こうした仕組みが欲しい」という意味かと思いますので、取組みを必要と感じる方に対する回答にはなっていないと思います。

最後に20番ですが、負担が増えるのではないかという質問に対して、「電子教材として繰り返し使うことができるので」という回答ですが、電子教材だから繰り返し使えるという表現はしっくりきません。現在の教材でも繰り返し使えます。もう少しICTに適した説得力のある回答になりませんか。

子ども総務課長：ご意見としていただき、可能であれば調整させていただきます。

金子会長：ありがとうございました。他にご意見がなければ、議題(2)「新・町田市子どもマスタープラン【後期】～子どもにやさしいまちづくり計画～2020-2024(案)」最終確認・承認について事務局より説明をお願いします。

## (2)「新・町田市子どもマスタープラン【後期】～子どもにやさしいまちづくり計画～2020-2024(案)」最終確認・承認について

[資料2、3の説明]

金子会長：事務局から説明がありました。計画も最終段階ですが、何か良いご意見ありましたらお願いします。

吉永副会長：%で載せるもの、数で載せるものでは、どちらの方がいいでしょうか。90%という表示の下段で数が示してあります。こちらの方が着実に増えているのがよくわかります。他にもこうした表記の違いがみられる理由はありますか。

子ども総務課長：基本的に数で出せるものは数で出すように心がけていますが、内容によっては%で表示しております。

田部井委員：直接の内容ではないのですが、公立保育園の絵を載せているページで、PDFで見たところ、背景が白色の絵の場合、下地との境目がわかりません。シンプルな枠のようなものをつけて掲載した方がいいと思います。

子ども総務課長：調整いたします。

斎藤委員：108ページの支援事業計画の件で、制度が10月に改正されて、認定区分が1～3号に、プラス新1～3号までが示され、提供の利用施設の形態等も出されています。

前回の会議では間に合えば、改正点を掲載するということでしたが、間に合わなかったのでしょうか。制度自体は決ったものですので、1ヶ月あれば十分に間に合ったと思います。

もう1点、111ページの確保の内容及び実施時期の表で、来年度以降が白紙となっています。これは量の見込みを毎年チェックしながらローリングしていき、この会議にかけていくという理解でよろしいですか。

子ども総務課長：108ページの中央の表の件は、検討しましたが、新1号から3号などの認定区分までを説明すると余計にわかりにくくなってしまいますので、ご指摘とは少し意味が違っていますが、177ページに説明を加えました。

斎藤委員：では、例えば、新しい認定区分に関しては177ページに誘導するような注釈をつけることはできませんか。

子ども総務課長：検討します。

子育て推進課長：2つ目の質問の2021年度以降に記載がない件ですが、今後の状況をみながら考えていきたいと思います。

斎藤委員：では、この部分もただ白紙にしておくのではなく、「待機児童をなくしていく方向で何かしらの対策を講じます」というような注釈を付けてください。表内にリンクがあると、「もうやらないのか」というように感じます。

森山委員：2018年実績を記載されたということで分かりやすくなっていますが、目標値が下がっているものがいくつかあります。これは読みすすめ、後で出てくる支援事業計画と照らし合わせれば数値の根拠が出てきますが、前の表だけでは誤解を生み兼ねないと思います。「支援事業計画をご覧ください」というような一文が入る方がいいと思います。

金子会長：他にいかがでしょうか。なければこの案を最終案として承認することでよろし

いでしょうか。

一同：(同意)

金子会長：答申については、この資料をもとに2月25日に吉永副会長と答申します。それについて、事務局から説明をお願いします。

[資料4及び答申後のスケジュール説明]

#### 4 報告

金子会長：続きまして報告です。すべての報告が終わった後、質疑を行いたいと思います。

[事務局による、報告事項(1)～(7)の報告]

金子会長：ただいまの報告に対してのご質問はいかがでしょうか。

岸委員：資料6について、三輪子どもクラブの愛称でMIWA～GO(みわーご)の「ご」をカタカナからひらがなに変えた理由は何かあるのでしょうか。せっかく募集をかけたものであれば、このままの方が良さそうな気がします。カタカナの「ゴ」でも「みわーご」と読めるのではないかと感じます

児童青少年課長：(みわ～ご)というのはふりがなです。募集しました愛称はローマ字の部分だけですので、ローマ字の部分が施設の看板に載ります。ふりがなを振るならばカタカナにするかどうかについては相談したいと思います。

斎藤委員：2点あります。1点目はまちとも実施校についてですが、今年度と来年度の東京都の放課後施策はかなり思い切ったものを進めています。町田も進めて行くならば、それ以外のところで何か進行している方針のようなものがあればお聞かせください。

子ども総務課長：詳細については、通知が届きしだい、参考にしながらお示ししたいと思います。

斎藤委員：もう1点が大地沢青少年センターについてです。この検討結果はコンサルタントの方でということでしたが、大地沢青少年センターとしての位置付けの部分がこの文言中にはほぼ出てきません。青少年や乳幼児のお泊り保育として使っている施設でもあり、会議としては関心の高いところですが、今回の報告を受ける中ではなかなか子どもの姿が見えてきません。ファミリー層はありますが、それは顧客としてのターゲットでしかないのかと見えます。より子どもを中心に置いた内容という部分ではどのような意図があるのか、今後、ここに書かれていることが、こういう会議でお話をするのがあり得るのかということについてお聞かせください。

大地沢青少年センター所長：基本的には多世代になるかと思っております。ご質問にもありましたように、子どもの育成という部分ではプログラムなどでカバーできるかと思っております。

斎藤委員：基本的に子どもについて、プログラムでカバーされるのであれば、そのプログラムについてのある程度の具体例を示すとか、あるいは高校生程度ならばきちんと施設のあり方を中心に据えていただくことはとても重要なことではないかと思っております。

平林委員：今のお話で、斎藤委員が以前「子どもが優先利用できるのか」などと気にされていましたが、今回コンサルタントに依頼する際に何か方向性のようなものを打診されていたのでしょうか。例えば、子どもに関しての方針に関するような打診であったのか、それともこの施設を有効活用するにはどうしたらいいのかというようなゼロベースの打診だったのでしょうか。

大地沢青少年センター所長：ゼロベースではなく、示していただいた提言を活かしました。

金子会長：国のこのような施設の国民センターや自然の家などをみると、夏休み中は優先的に利用させ、9月になったら大学生に利用させようというような優先順位をつけています。町田市もこういう選択をしなければいけないのかとは思っています。

吉永副会長：資料7で、待機児童は解消されないということですか。

保育・幼稚園課長：一次選考の募集状況と申し込み状況を載せさせていただいています。待機児童につきましては、二次選考の調整をしているところでございますが、残念ながら今年度はかなり厳しい状況です。

金子会長：他はいかがでしょうか。ないようでしたら報告事項については、ご理解いただけたということでよろしいでしょうか。最後にその他です。

## 5 その他

金子会長：その他として何かございますか。

子ども総務課長：議題のパブリックコメント実施結果、子どもマスタープランについての最終確認のご意見につきましては、事務局で検討し、反映したものをメールでお伝えいたします。ご確認いただきますようお願いいたします。

金子会長：それでは進行を事務局にお返しします。

## 6 閉会

子ども総務課担当課長：任期は2020年3月31日までとなりますので、新年度からは新たな委員構成で会議を進めてまいります。今回は第3期委員の最後の会議となりますので、金子会長からご挨拶をお願いします。

金子会長：皆さん、2年間お忙しい時間に大変な問題に対する事例について、ご協力ありがとうございました。拙い司会で、貴重な時間を無駄にさせたこともあると思います。今日、案を見まして、先ほど田部井委員からも指摘がありましたが、保育園の子ども絵は、これに携わったすべての人の心の優しさをここに表してるのではないかと思います。良い絵が沢山あって選んだ人は大したものだと思います。この絵が象徴するように子どもに優しい子どもマスタープランであり、これから町田を背負って立つ子どもは、本当に優しい子どもとなって、町田市を支えてくれる人の基礎になってくれればと思っています。2年間ご苦労様でした。

子ども総務課担当課長：以上をもちまして、2019年度第6回町田市子ども・子育て会議を閉会いたします。皆様、ありがとうございました。